

## 平成28年中の自殺者について（暫定値）

秋田県警察本部  
生活安全企画課

- 1 平成28年中の自殺者は263人で、前年と比較して15人（5.4%）減少しました。
- 2 年代別では、70代が47人（全体の17.9%）で最も多く、次いで50代と80歳以上がそれぞれ46人（同じく17.5%）となっています。
- 3 65歳以上の高齢者は112人（全体の42.6%）で、前年と比較して19人（14.5%）の減少しました。
- 4 男女別では、男性が178人、女性が85人となっています。
- 5 原因・動機別では、健康問題が118件（全体の39.2%）で最も多く、次いで経済・生活問題が34件（同じく11.3%）と続いています。
- 6 職業別では、無職者（学生・生徒を含む。）が173人（全体の65.8%）で最も多く、次いで被雇用者・勤め人が70人（同じく26.6%）、自営業・家族従事者が20人（同じく7.6%）と続いています。
- 7 月別では、10月が27人で最も多く、6月が17人で最も少なくなっています。

※ 平成19年に警察自殺統計の集計要領が改正され、遺書等自殺を裏付ける資料により明らかに自殺と推定できる場合には、1人につき3つまで原因・動機を計上することができることになったため、原因・動機別の数と自殺者の数は一致していません。

※ 職業別の学生・生徒については、大学生、専修学校生等（予備校生、専門学校生等）も含まれます。

平成28年中の自殺者について

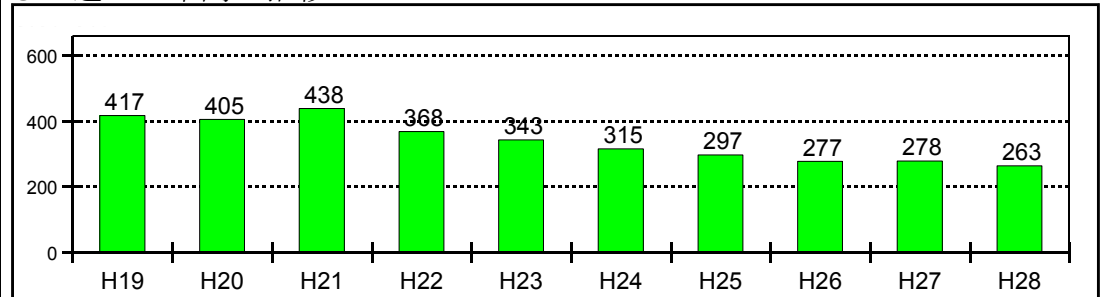
【暫定値】

1 概要

平成28年中の自殺者は263人で、前年比で15人(5.4%)減少となっている。このうち高齢者(65歳以上)は112人で、全体の42.6%を占めており、前年比では19人(14.5%)の減少となっている。

区分\年	平27	平28	増 減
自殺者数	278人	263人	△15人(△5.4%)

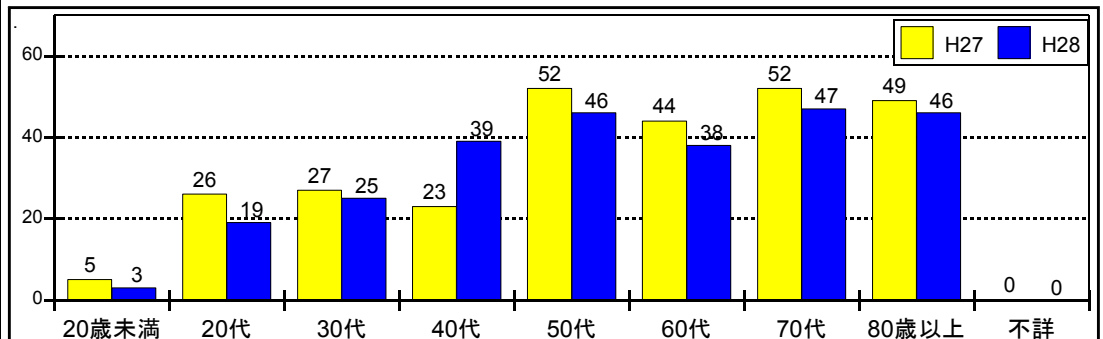
○ 過去10年間の推移



2 特徴等

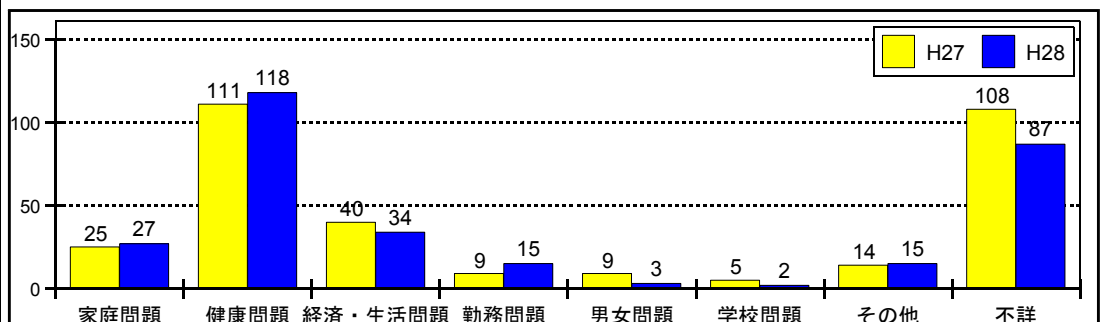
(1) 年齢別

70代が47人(17.9%)で最も多く、次いで50代と80歳以上がそれぞれ46人(17.5%)である。



(2) 原因・動機別

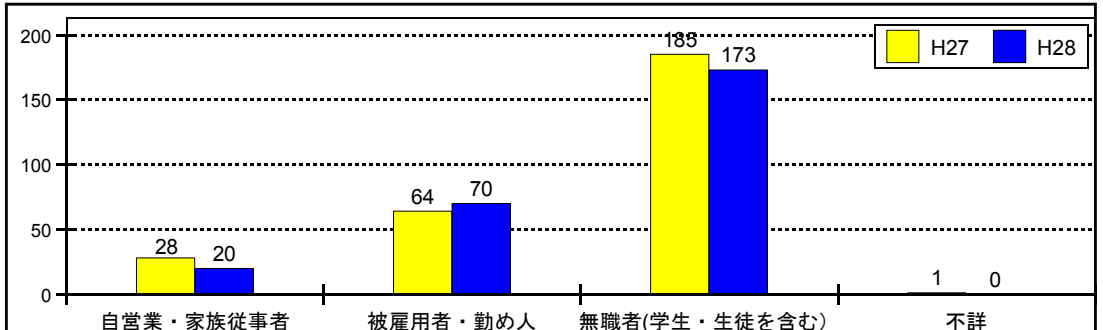
健康問題が118件(39.2%)で最も多く、次いで経済・生活問題が34件(11.3%)である。



※ 原因・動機別については、複数計上のため自殺者数とは一致しない。

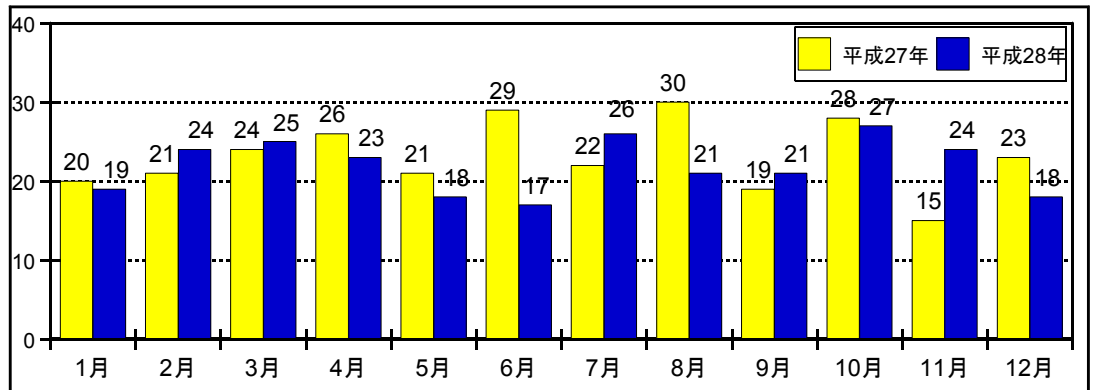
(3) 職業別

無職者（学生・生徒を含む）が173人（65.8%）で最も多く、次いで被雇用者・勤め人が70人（26.6%）、自営業・家族従事者が20人（7.6%）である。



(4) 月別

10月が27人で最も多く、6月が17人で最も少なくなっている。



(5) 各警察署取扱件数

由利本荘警察署が38人で最も多く、次いで秋田中央警察署が32人、能代、大仙、横手警察署が22人である。

